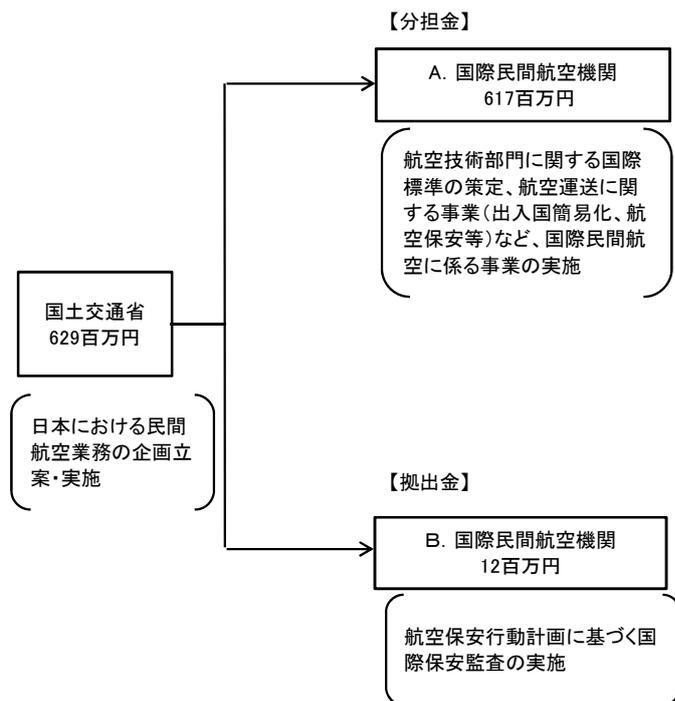


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	国際民間航空機関分担金・拠出金		担当部局庁	航空局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和28年度～		担当課室	航空戦略課 安全企画課	課長 海谷 厚志 課長 石崎 仁志			
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、 ハイジャック・航空機テロ防止を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国際民間航空条約第61条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際民間航空が安全にかつ整然と発達するように、また、国際航空運送業務が機会均等主義に基づいて確立され、健全かつ経済的に運営されるように一定の原則及び取極を規定することにより、世界各国の協力を図ることを目的としている、国際民間航空機関(ICA O)に係る、我が国分担金の支出。なお、ICA Oの設置根拠条約である国際民間航空条約において、ICA O加盟国の分担金支払い義務が定められている。また、「航空保安行動計画」に対し、一定の拠出をしている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	【ICA Oの事業】 ①航空技術部門に関する事業(国際航空の安全、保安、正確及び能率化のために望ましい国際標準及び勧告方式の採択) ②航空運送に関する事業(国際航空運送の経済面での発展を支援するための出入国の簡易化、空港及び航空路航行援助施設に関する経済的問題、航空保安に関すること等) ③法律問題に関する事業 ④地域活動に関する事業 ⑤技術援助に関する事業 ⑥航空保安施設の共同維持に関する事業 などを実施。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	807	636	640	669	624	
		補正予算	-	-	▲ 11	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
	計		807	636	629	669	624	
	執行額		800	636	629			
執行率(%)		99	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本分担金、拠出金は、各国航空当局者が集まる国際会議の場で、議論・交渉の上決定されるため、我が国のみの事情で成果目標及び成果実績(アウトカム)指標を定めて支出する性格のものではない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本分担金、拠出金支出に伴う活動指標及び活動実績は、各国航空当局者が集まる国際会議の場で、議論・交渉の上決定されるため、我が国のみの事情で指標を定められる性格のものではない。		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	本件はICA Oという組織の運営費の一部を分担する目的で支出するものであり、単位あたりのコストで効果を図るには経費の性格上なじまない。		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国際民間航空機関分担金	657	592	分担金については、次期3ヶ年予算(2014～2016年)における理事会や財政委員会における審議において、我が国は予算額を抑制するよう積極的に審議に関わり、予算の縮減に努めた。 拠出金については、ICA O理事会等での審議に積極的に取り組むことを通して、「航空保安行動計画」に係る拠出金の予算の縮減に努めた。一方、「航空交通管理プロジェクト」に対して新たに拠出することとなった。				
	国際民間航空機関拠出金	12	32					
計	669	624						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		—	ICAOは各国の民間航空行政に関する国際機関であるため、地方自治体や民間にゆだねる対象とはならない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	ICAOの予算は理事会等で審議され、総会で決定されるものである。我が国は予算審議においてICAO運営の効率化や無駄な事業の削減を通じた予算額の拡大の防止に努めてきたところであり、今後もこの方針を継続していく。 ICAOの予算は総会で決定し、決定に基づく分担金の支払いは義務であり、義務以上の金額は支払わないので、真に必要な金額に限定されているといえる。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	ICAOの活動は理事会等で、ICAO事務局より報告を受けるなど活動実績が見込みに見合ったものであることを確認している。また、ICAOでは航空の安全や運航等に関する国際基準等を定めているが、それらは、書籍や電子媒体により、世界各国に提供され、その普及が図られていることから、十分に活用していると考えられる。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	ICAOの活動は理事会等で、ICAO事務局より報告を受けるなど活動実績が見込みに見合ったものであることを確認している。また、ICAOでは航空の安全や運航等に関する国際基準等を定めているが、それらは、書籍や電子媒体により、世界各国に提供され、その普及が図られていることから、十分に活用していると考えられる。		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>ICAOの活動状況については、毎年3会期行われているICAO理事会及び3年に一度の総会への報告書などを通して、その活動状況の確認を行っている。国際民間航空の発展に資するため、また国際民間航空の標準を制定するに際し我が国の見解を反映させるためにも我が国がICAOから脱退する選択肢はない。上述のとおりICAO加盟国は国際民間航空条約により分担金の拠出が義務づけられており、必ず支出しなければならない。ICAOの予算は理事会及びその下部機関である財政委員会で審議されるが、我が国は理事国であり財政委員国であることから、ICAOの効率化や無駄な事業の削減などにより予算額を抑制するよう積極的に審議に関わってきたところであり、今後もこの方針を継続していく。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>分担金については、国際民間航空条約に基づき、締約国に対して負担することが義務づけられているものであるが、次期3ヶ年予算(2014～2016年)における理事会や財政委員会における審議において、我が国は予算額を抑制するよう積極的に審議に関わってきたところであり、今後もこの方針を継続するべき。</p> <p>拠出金については、「航空保安行動計画」に基づき平成26年度以降も各締約国への拠出要請が継続されることが決定しているものの、今後も理事会等における審議に積極的に関わり、削減の取り組みを継続するべき。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	<p>分担金については、次期3ヶ年予算(2014～2016年)における理事会や財政委員会における審議において、我が国は予算額を抑制するよう積極的に審議に関わり、予算の削減に努めた。</p> <p>拠出金については、ICAO理事会等での審議に積極的に取り組むことを通じて、「航空保安行動計画」に係る拠出金の予算の削減に努めた。</p>					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	405	平成23年	376	平成24年	400

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際民間航空機関分担金	617			
計		617	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	国際民間航空機関拠出金	12			
計		12	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 国際民間航空機関

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際民間航空機関	航空技術部門に関する国際標準の策定、航空運送に関する事業(出入国簡易化、航空保安等)など、国際民間航空に係る事業の実施	617	—	—

B. 国際民間航空機関

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際民間航空機関	航空保安行動計画に基づく国際保安監査の実施	12	—	—